校長室だより

「ハッピー通信」16号

令和4年8月3日

新聞にのりましたよ～ Ⅰ

5年生が鹿児島県の小学校と行った交流学習のことが新聞に掲載されました。

給食のメニューに登場する「今帰仁スイカ」のことを鹿児島の小学生に紹介するために、農家の方や出荷場の方に取材を行いました。

出荷場の見学は自分たちで電話をしてアポを取りました。

農家さんへのインタビューでは、「お盆用のスイカはサイズが小さめ」「夏は朝の3時に起きて畑に行く」などの情報に質問が集まりました。

取材で学んだ事をタブレットPCを使ってまとめ、発表しました。

テレビの取材も来ていましたよ～

朝刊　2022/08/02　　P21 市町村

地元特産品紹介、交流深める

今帰仁・兼次小と鹿児島・国頭小

【今帰仁】今帰仁村立兼次小学校（上間久仁校長）の５年生20人と、鹿児島県沖永良部和泊町立国頭小学校（中村健三郎校長）の６年生11人が７月12日に交流給食を行った。

同村と和泊町は2020年１月に友好都市協定を結んだ。昨年から地元特産品を交換する食材交流プロジェクトを実施し、今年３月に和泊町の赤土バレイショを村内の給食で味わった。今帰仁村からは７月11日に今帰仁スイカ200㌔を和泊町に届けた。ウェブ交流ではスイカの作り方やクイズを出題し、バナナやブドウなどの果物と糖度を比較した結果など説明した。

スイカについて説明する兼次小５年生の児童ら＝７月12日、今帰仁村立兼次小学校内

今帰仁村と和泊町の児童生徒に提供された共同献立

和泊町国頭小の児童は同校のシンボルでもある「日本一のガジュマル」の紹介や観光スポット、郷土学習で取り組んだ「黒糖づくり」「汐干し（塩作り）」の学習を紹介した。

質問タイムでは国頭小から「スイカは野菜？　果物なの？」と疑問を投げ掛けた。「みずみずしくておいしかった」「水分が多く真ん中が甘かった」などの感想もあった。この日は、両町村内の小中学校に、今帰仁スイカが入った共同献立が振る舞われた。　（新城孝博通信員）

8/2
琉球新報